

## 防衛省が計画

## 「戦争する国」へ 重大段階

## 軍事研究助成 18倍に

防衛省は31日、2017年度 戦争への反省から軍事研究に従  
 予算の概算要求で、大学や公的 わない方針を掲げてきた日本  
 研究機関、民間企業を将来兵器 学会会議も、安倍政権が推進  
 の研究開発へ動員するための する軍学共同の是非をめぐっ  
 「安全保障技術研究推進制度」 て6月に議論を開始していま  
 に110億円を計上しました。 す。

16年度予算の6億円から、一気 こうした中、防衛省が、研究  
 に18倍の規模への増額になりま 者の良心を札束で買収するべ  
 す。 く、異例の予算措置で反転攻勢

## ↓関連②面

同制度が創設された15年度に 最大で3年・9000万円の現  
 は109件の応募がありました。 在の助成額を、5年・10億円程  
 が、研究者らの軍学共同反対運 度にまで拡大する「大規模な投  
 動の広がりを受けて、今年度の 資」が想定されています。

## 無人攻撃機開発に着手

防衛省は31日、将来の軍事技 「研究開発ビジョン」では、  
 術開発の方向性を示した「軍事 米空軍やCIA（中央情報局）  
 技術戦略」「中長期技術見積り」 が「対テロ」戦争に投入してい  
 「研究開発ビジョン」を策定し る無人攻撃機「MQ9リーパ  
 ました。この中で、米軍がイラ ー」を例示。同機は米本土から  
 クやアフガニスタンなどに投入 遠隔操作され、パキスタンでは  
 している無人攻撃機を念頭に、 無実の民間人約1000人を殺  
 戦闘型航空無人機などの研究開 害するなど、無差別攻撃を繰り  
 発を進める方針を公表しまし 返しています。

た。米国に追従し、遠隔操作 また、同日に策定された「中  
 で敵を殺傷する無人攻撃兵器 長期技術見積り」では、アフリ  
 の開発に本格的に乗り出しま 力など紛争地域でこうした無人  
 す。 兵器を運用する構想も示してい

日本政府は米国製の無人偵察 ます。  
 機グローバルホークの導入を進 無人機の運用には航空法上の  
 めていますが、戦闘型無人機の 取り決めがなく、民間機との衝  
 開発に着手する方針を示したの 突の危険などが指摘されていま  
 は初めてです。 す。